

御津中学校 「家庭学習の手引き」

～自ら学ぶ生徒を目指して～

中学校では、学習内容も多く難しくなり、授業で学んだことを確実に身につけるために「家庭学習」は欠かせません。単に宿題を提出するための“やらされ学習”でなく、自分の学力を高めるための学習にしてほしいものです。

中学校九教科のうち、特に日々の家庭学習を習慣化してほしい五教科に絞って、家庭学習の目標や方法、ポイントをまとめましたので参考にして下さい。

1. 国語

家庭学習のポイント

〈話す・聞く〉

- ・聞き手を意識し、相手の反応を踏まえてわかりやすく話してみよう。
- ・効果的な資料を作成し、活用して話してみよう。

〈書く〉

- ・書いた文章を読み返し、語句の選び方や使い方を工夫して書いてみよう。
- ・自分の考えや伝えたい事実を相手に効果的に伝わるように明確に書いてみよう。

〈読む〉

- ・登場人物の心情や行動に注意して読み、主題や内容を理解しよう。
- ・文章から適切な情報を得て、自分の考えをまとめてみよう。

〈言語事項〉

- ・文脈に即して漢字を正しく書いたり読んだりしてみよう。
- ・語句の意味を調べ、短文を積極的に作ってみよう。

〈読書〉

- ・図書室や図書館を活用し、家庭での読書を習慣化しよう。

《家庭学習で進んでやろう》

- | | | |
|------------|-------------|----------|
| ○授業の予習、復習 | ○漢字帳や漢字プリント | ○読書記録 |
| ○語句調べや短文作り | ○古典の視写や暗唱 | ○新聞の感想書き |
| ○詩、短歌、俳句作り | ○毎日日記 | |

(1) 予習の仕方

- ①毎回本読みをし、登場人物や話の流れをつかむ。
- ②意味調べや新出漢字を覚える。
- ③小テスト対策勉強や宿題にしっかり取り組む。

(2) 復習の仕方

- ①小テストやプリントのまちがった所をもう一度する。
- ②ノートを見返し、学んだ所のワークを解く。



2. 数学

(1) 予習の仕方

数学は、三年間の間に①計算(代数学) ②グラフ(関数) ③図形(幾何学) ④確率・統計を順番に“積み上げて”徐々にレベルの高いものを学習していきます。(たとえば、中1で「一次方程式」を習い、中2で「連立方程式」中3で「二次方程式」へとレベルアップしていきます。)

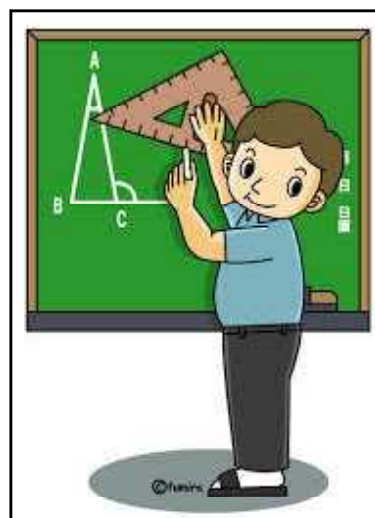
①一年前の復習

新しい内容の単元に入る前に、同じような内容の以前に学習した単元を思い出しておくことが重要です。

(たとえば、中3一学期の「二次方程式」を学習する前に、中2一学期の「連立方程式」や中1一学期の「一次方程式」がわかるように復習しておく)

②日々の予習

次の授業で習うところの教科書に目を通してわ分かりにくいところを確認しておく、授業中に学習すべきところがはっきりします。



(2) 復習の仕方

数学は、家庭での復習学習が大事です。授業中に学習内容を一度は「分かった」状態にしておき、本当に分かっているかを確認し定着させるのが復習学習です。

①ワークで確認

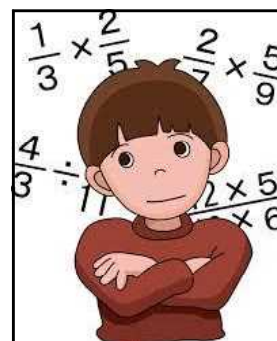
授業で習ったところに対応したワークの問題を解き、本当に分かっているかを確認します。間違えたり分からなかった時は、教科書やノートを見返しながら納得できるようになっておきましょう。

②分からない問題は時間を置いて再チャレンジ&「質問」

「分からない問題」はチェックしておいて、少し時間をおいてからやってみることをお勧めします。再チャレンジしてみるとパッとひらめくことがあります。または、先生や友達に「質問」しましょう。

③テスト対策勉強は効率よく取り組もう

テスト範囲の全てをやり直す必要はありません。復習①②で間違えたところやよく分からなかったところを中心に取り組むと効率よく勉強できます。



3. 社会

<学習の目標>

地理：世界の国々や日本の各地についての情報や知識を身につけることや、それらの地域や国を理解するためには、どのような見方をしたらよいか、どのような情報を集め、まとめたらいのかという方法を学びます。

歴史：歴史を学ぶことで、私たちはどう生活したらよいか、どんな世の中にしたいのかを考える力を身につけます。

公民：現在の社会のしくみを、政治・経済を中心に学習します。私たちの社会は、民主主義を基調として、多くの人々がたがいの権利を尊重し、合理的に生活していくしくみの上に成り立っています。その基礎的なしくみを、法律や統計を使って学んでいきます。



(1) 予習の仕方

- ・次の授業で学習する内容を読んで、全体の流れをつかんでおきましょう。
- ・疑問に思うことや、もっと深く知りたいと思うことをはっきりさせておきましょう。(疑問点は必ず解決しましょう。もし自分で解決できないことは、先生や友達にたずねる習慣をつけておきましょう。)

(2) 復習の仕方

- ・授業で学習したことを必ずその日のうちに復習しましょう。重要語句(太字で書かれたもの)やラインを引いた箇所はしっかりと覚えましょう。
- ・分かった問題と、まだ分からない問題を区別するため、ワークやプリントの間違った箇所を色ペンでチェックしたり、書き出したりして、テスト前に必ず見直しておきましょう。
- ・用語の暗記だけで終わらず、説明ができるように理解しましょう。

(3) その他

- ・テレビや新聞のニュースから、日本や世界の動きに興味を持つようにし、身近で分かりやすい出来事を家族で話し合ってみましょう。
- ・興味・関心を持つために、歴史まんがや歴史や地理に関する番組、ニュースを分かりやすく解説した番組などを活用するのもよいでしょう。

※社会科は暗記だけの教科ではありません。暗記だけの学習ではテストが終わればすぐに忘れてしまいます。大切なのは、興味・関心を持つこと、「つながり」を考えて理解することです。



4. 理科

理科は「なぜそうなるのか？」を考える教科です。様々な現象や物質などの性質、自然の中の1つの種類として、私たち人間は生きています。そうしたことを理解することが勉強の目的の1つです。教科書をただ暗記するのではなく、実験や観察を通して科学的・論理的な視野を養わなければなりません。水や生き物など身の回りにあるものにどのような性質・習性があるのかなど結び付けると興味が沸きやすく楽しく学べます。

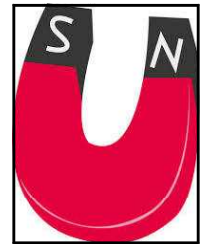


(1) 予習（実験・観察の前には必要）

どのような実験・観察をするのか把握しておきます。授業では実験・観察で、なぜそうなるのかを勉強します。どういう実験をするのか予習しておく、本当にそういう結果になるのかという興味関心が高まります。

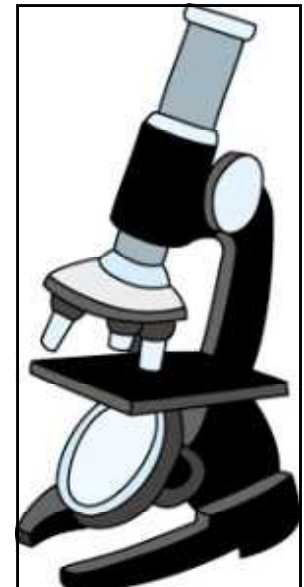
(2) 復習をしよう

- ①理科ノートに目を通し、書き足りていないところは書き足し、書き方の悪いところは訂正してきちんと整理しましょう。
- ②その日に習った内容を、理科ノートの左側のページを解いて整理し、確実に自分のものにしましょう。
- ③問題集で問題を解く練習をして、答え合わせをします。間違ったところは赤ペンで直し、もう一度教科書で調べて理解しましょう。



(3) 「なぜ」なのかを考えよう

理科では、それぞれの事柄を理解することが大切です。そのためには、常に「なぜ、そうなるのか」を考えるようにしましょう。理由がわかれば、「なるほど！」と納得できます。このように納得して覚えたものは、単純な暗記と違って忘れる率が大幅に低くなります。理解し納得する学習が身につくと、達成感があって勉強のおもしろさがわかってきます。



(4) プラスαとして・・・

ふだんから身の回りの自然現象に興味を持ち、観察をしたり、理科の内容に関わるテレビ番組を見たり、雑誌を読んで知識を豊かにしておきましょう。

5. 英語

英語は問題を解くだけでなく、「話す」「聞く」「書く」「読む」という4つの力を身につけなければなりません。そのためには、問題集やプリントをするだけでなく、練習が大切です。スポーツと同じように、トレーニングを続けましょう。



(1) 予習

予習ではまず、わからない単語の意味を調べます。そして英文を読んでわからないところを見つけます。授業ではわからないところを意識して聞くと、より理解が深まります。

(2) 単語

単語を覚えるには何度も繰り返すことが大切です。50の単語を覚えるには1日で1時間勉強して覚えてもすぐに忘れてしまいます。1日に10分の勉強を1週間続けると記憶に残ります。1日に長時間勉強するよりも、毎日少しでも続ける事が大切です。



(3) 音読

単語、熟語の意味を確認し、文の構造を理解します。そして英文の訳をわかるようになってから音読をします。意味がわからない英文を音読しても効果は得られません。意味や場面をイメージしながら、覚えるまで何度も「声に出して」読みます。1日だけでなく、何日か音読しましょう。また、CDをまねして音読することで正しい発音が身につきます。

最終的に「英語→日本語」「日本語→英語」両方できるようになることを目指しましょう。

音読は、「話す力」だけでなく、「聞く力」「書く力」もアップさせます。

(4) 暗写

単語や英文を発音しながら書いて覚えます。繰り返し練習し、日本語を見て英語が書けるようにします。ここまで行うと英作文の力がつきます。

